

平成29年度 こども保育コース1年

資格科目

幼稚園教育実習事前事後指導 — 01

幼稚園教育実習 I ————— 02

幼稚園教育実習事前事後指導

概要

幼稚園教育実習 に臨むにあたり、実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌の書き方について学ぶ。また実習後は、実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解する。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	通年
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース1年～2年
時間数	90分×15回
単位数	1

目標

実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌が書けるようになる。

実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達成長にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解することができる。

各回の内容

1. 幼稚園についての基本的な理解
2. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
3. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
4. 実習日誌の書き方についての指導
5. 実習日誌の書き方についての指導
6. 実習日誌の書き方についての指導
7. 実習に際しての留意事項
8. 実習の体験の発表と共有化
9. テーマに基づいた話し合い
10. テーマに基づいた話し合い
11. 実習日誌の書き方についての事後指導
12. 実習日誌の書き方についての事後指導
13. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
14. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
15. まとめ

準備学習（予習・復習等）

- ・配布資料を熟読すると共に、観察の視点や実習日誌の書き方について理解する。
- ・図書館を利用し、実習に関する本を熟読する。
- ・実習後は、体験を通しての学びや幼稚園教育実習 に向けての課題・目標を明らかにし、レポートを作成する。

短期大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準と定められております。本学では講義、演習については、原則として15時間の授業をもって1単位としています*ので、1単位の講義、演習については、30時間、2単位の講義、演習については60時間の予習・復習が必要となります(実験・実習は除く)。 *学則第24条

評価方法

各回の振り返り30%、課題及びレポート50%、提出物(実習日誌等)20%

教科書

幼稚園教育実習の手引き（授業で配布する）

参考文献

その都度授業で紹介する。

幼稚園教育実習

概要

本科目は、実習の最初の段階として位置づけられる。現場における保育の実際を観察し、保育に参加することによって、幼児を理解し、保育環境を体験的に学ぶことを目的とする。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	集中
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース1年
時間数	5日間
単位数	1

目標

幼稚園での保育を経験し、幼稚園教諭となるための自覚や基本的な態度を身につけることができる。

各回の内容

-
1. 10月に実習園において5日間、教育実習を行う。
-

準備学習（予習・復習等）

今まで履修した授業の内容や資料等を振り返り、観察の視点を明確にもつ。

短期大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準と定められております。本学では講義、演習については、原則として15時間の授業をもって1単位としています*ので、1単位の講義、演習については、30時間、2単位の講義、演習については60時間の予習・復習が必要となります(実験・実習は除く)。 *学則第24条

評価方法

実習先の評価70%、実習日誌の記録内容30%

教科書

なし

参考文献

なし